

男女共同参画に関する市民意識調査（案）

【御協力のお願い】

市民の皆様には、日頃から市政に対し御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、宇土市では「男女が自分らしさを発揮し、ともに自立し支えあう多様性に富んだ活力ある地域社会の実現」を目指して、男女共同参画に関するさまざまな取り組みを行っております。

このたび、市民の皆様の男女共同参画に関する意識の変化を把握し、今後、市が取り組むべき施策の参考資料とするために、調査を実施することにいたしました。

今回の調査では、満 18 歳以上の市民の皆様の中から、無作為に 2,000 人の方を選ばせていただき、御協力をお願いしております。御回答いただきました内容は機械的に処理されますので、個人情報や個人の考え等が明らかになることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、市民の皆様の率直な御意見をお聞かせください。御協力をよろしくお願い申し上げます。

令和 年 月 宇土市長 元松 茂樹

ご記入にあたっての注意点

- **宛名の御本人様**が御記入ください。※代筆は可能です。
- 記入日現在の状況について御記入ください。
- 黒のボールペンか鉛筆ではっきりと御記入ください。
- 質問ごとに当てはまる回答の番号を○で囲んでください。
(例) 1 2 ③ 4 5
- 質問ごとに○をつける数が違いますので、御注意ください。
- 「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが()内に具体的に御記入ください。

記入後の調査票は、記入もれがないかを御確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて、**令和4年 月 日（ 曜）までに郵便ポストに投函**してください。※切手は不要です。

【お問い合わせ先】

宇土市役所 企画部 まちづくり推進課 市民活動支援係 担当 河野, 南

電話：0964-22-1111（内線808）

FAX：0964-22-2928

E-mail：machi01@uto.kumamoto.jp

あなた自身や家族のことについてお尋ねします

問1 あなたの性別は次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。
※戸籍上の性別にかかわらず、御自身が自認される性別で御回答ください。

1. 男性 2. 女性 3. 1・2のいずれにもあてはまらない。

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

問3 あなたは結婚していますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 結婚している（配偶者・パートナーがいる）
2. 離別・死別
3. 未婚

問3で「結婚している（配偶者・パートナーがいる）」と回答した方にお尋ねします。

問3-1 あなたの家庭は共働きですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 共働きである 2. 共働きではない

問4 あなたの職業や就労形態は次のどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 正規雇用
2. 非正規雇用（パート・アルバイト・契約社員・嘱託社員・派遣社員）
3. 会社経営・自由業・自営業・家業
4. 農林水産業（雇用契約が有る場合を除く）
5. 専業主婦・専業主夫 6. 学生
7. 無職 8. その他（ ）

問5 あなたの現在の家族構成は、次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 夫婦世帯
3. 二世帯世帯（親と子など） 4. 三世帯世帯（親と子と孫など）
5. その他（ ）

問6 あなたには、子どもさんがいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. いる	2. いない
-------	--------

問6で「1. いる」と回答した方にお尋ねします。

問6-1 一番下の子どもさんの成長段階は次のうちのどの段階ですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 乳幼児（0歳～小学校入学前）	2. 小学生
3. 中学生	4. 高校生以上

男女共同参画に関する意識についてお尋ねします

問7 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことのあるものはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 男女共同参画社会
2. 男女共同参画社会基本法
3. 男女雇用機会均等法
4. 宇土市男女共同参画推進条例
5. 宇土市男女共同参画推進計画
6. ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）
7. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）
8. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）
9. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）
10. 見たり聞いたりしたものはない

問8 あなたは、現在の日本の社会において、次に掲げる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	優遇されている 男性の方が	どちらかといえば男性 の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性 の方が優遇されている	優遇されている 女性の方が	わからない
(1) 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
(2) 職場では	1	2	3	4	5	6
(3) 就職・採用では	1	2	3	4	5	6
(4) 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
(5) 政治の場では	1	2	3	4	5	6
(6) 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
(7) 社会通念・習慣・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6
(8) 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
(9) 社会全体では	1	2	3	4	5	6

問8の「(9) 社会全体では」で「男性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した方にお尋ねします。

問8-1 その原因は特に何だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 社会通念や慣習やしきたりなどには、男性優位のものが多い
2. 日本社会は仕事優先、企業中心の考え方が強く、その社会を男性が支えているという意識が強い
3. 女性の能力を発揮できる環境や機会が十分ではない
4. 給与等の待遇面で女性に不利な仕組みとなっている
5. 人事評価や昇進時等において男女を公平に評価する仕組みが十分ではない
6. 男女がともに育児、介護などを担うための体制・サービスが充実していない
7. 男女平等を進める男性の意識が薄い
8. 男女平等を進める女性の意識が薄い
9. その他（具体的に： _____）
10. わからない

家庭生活についてお尋ねします

問9 あなたは、配偶者・パートナーと同居されていますか？あてはまるものを1つお選びください。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問9で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

問9-1 A. あなたの家庭では、次のことを実際に誰がしていますか？

B. また、理想はどうしたいですか。

A. Bともに、それぞれについて、あてはまるものを1つお選びください。

※(9), (10)については、該当がない場合、何も記入しないでください。

	A. 現状						B. 理想					
	主として夫 (男性パートナー) の役割	主として妻 (女性パートナー) の役割	夫婦・パート ナー同じ程度 の役割	家族で分担	特に決ま っていない	その他	主として夫 (男性パート ナー)の役割	主として妻 (女性パート ナー)の役割	夫婦・パート ナー同じ程度 の役割	家族で分担	特に決ま っていない	その他
(1) 掃除	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 食事の支度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) ごみ出し	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(5) 洗濯	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 日常の買い物	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(7) 家計の管理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(8) 地域活動への参加	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(9) 育児・しつけ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) 家族, 親族等の介護	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

問10 あなたは、「男は仕事、女は家庭」などと、性別によって役割を固定する考え方について、どう思われますか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 同感する
- 2. どちらかといえば同感する
- 3. どちらかといえば同感しない
- 4. 同感しない
- 5. わからない

問10で「1. 同感する」又は「2. どちらかといえば同感する」と回答した方にお尋ねします。

問10-1 それはなぜですか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 日本の伝統的な家族のあり方だと思うから
- 2. 自分の両親も性別によって役割を固定していたから
- 3. 女性が家庭を守ったほうが、子どもの成長などにとって良いと思うから
- 4. 家事・育児・介護と両立しながら、女性が働き続けることは大変だと思うから
- 5. 男性が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
- 6. その他（具体的に： _____)

問10で「3. どちらかといえば同感しない」又は「4. 同感しない」と回答した方にお尋ねします。

問10-2 それはなぜですか。あてはまるものを1つお選びください。

- 1. 役割は、互いに話し合って決めるべきことだと思うから
- 2. 夫婦共働きの家族で育ったから
- 3. 男性も家事・育児に参加した方が、幸せな家庭が築けると思うから
- 4. 女性も働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
- 5. 男性の収入だけでは家計を維持できない世帯が多いと思うから
- 6. その他（具体的に： _____)

子育て・教育についてお尋ねします

問11 今、女性が一生に産む子どもの数が少なくなっていますが、あなたは、その原因は何だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 子どもを育てるには経済的負担が大きいから
2. 子どもを育てるには肉体的、精神的負担が大きいから
3. 子どもを少なく産んで、大切に育てようとする人が増えたから
4. 出産や育児に対する男性（夫）の理解や協力が足りないから
5. 出産すると仕事を辞めなくてはならないから
6. 生き方が多様化し、結婚しても、子どもを作らない人が増えたから
7. 生き方が多様化し、結婚しない人が増えたから
8. 結婚年齢が上がっているから
9. 子育て環境の整備が不十分だから
10. その他（具体的に： _____）
11. わからない

問12 あなたは、子どもの育て方についてどのように考えますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てた方がよい
2. 男の子も女の子も同じように育てた方がよい
3. 同じように育てたいが、男の子らしく、または女の子らしく成長してほしい
4. 男の子も女の子も個性を生かし、その子どもにあった育て方をした方がよい
5. その他（具体的に： _____）
6. わからない

女性の働き方や社会参画についてお尋ねします

問13 あなたは、女性の働き方についてどのように考えますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 子どもができて、ずっと職業を持ち続ける方がよい
2. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 結婚するまでは、職業をもつ方がよい
5. 女性は職業を持たない方がよい
6. その他（具体的に： _____)
7. わからない

問14 あなたは、女性が職業を持ち続けるうえでの問題は何だと思えますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 育児休業や介護休業などを取りにくい雰囲気がある
2. 育児休業や介護休業などの制度が不十分
3. 家族の同意・協力が得られない
4. 男女の待遇（賃金・昇進・仕事内容）に格差がある
5. 女性の能力が正当に評価されない
6. セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）がある
7. 女性が長く勤めにくい雰囲気がある
8. その他（具体的に： _____)
9. 特にない
10. わからない

ワーク・ライフ・バランスについてお尋ねします

問15 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）という言葉をごどの程度知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

■ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは・・・

⇒仕事と家庭生活、地域・個人の生活（ボランティア活動や趣味・娯楽など）との調和（バランス）が取れて、誰もが生き生きと生活している状態を指します。

問16 あなたは、現在地域の活動や行事に参加していますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 町内自治会・婦人会・老人会・消防団などの活動
2. PTAや子ども会などの活動
3. 趣味・スポーツ・学習などの活動
4. 消費生活や環境保護などの住民運動
5. 福祉ボランティアなどの活動
6. その他（具体的に： _____)
7. 参加していない

問16で「7. 参加していない」と回答した方にお尋ねします。

問16-1 それはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 自分に適した活動が見つからない
2. 仕事が忙しく、時間に余裕がない
3. 家事や育児、介護で忙しく、時間に余裕がない
4. 人間関係がわずらわしい
5. 家族の協力や理解が得られない
6. 健康や体力に不安がある
7. 地域活動に関心がない
8. その他（具体的に： _____)

問17 あなたの生活の中での、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、現状に最も近いもの及び希望に最も近いものは次のうちどれですか。それぞれについて、あてはまるものを1つお選びください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」も「家庭生活」も「地域・個人の生活」も全て優先	わからない
(1) 現状に最も近いもの	1	2	3	4	5	6	7	8
(2) 希望に最も近いもの	1	2	3	4	5	6	7	8

問18 あなたは、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 周りの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、育児などについて、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務など多様な働き方が普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、育児などについて関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 市が行う研修等により、男性の家事や育児などの技能を高めること
9. 男性が家事・育児などを行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. その他（具体的に： _____）
11. 特に必要なことはない
12. わからない

ドメスティック・バイオレンス等についてお尋ねします

問19 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）について、どの程度御存知ですか。
あてはまるものを1つお選びください。

1. 内容まで知っている
2. 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない
3. 知らない

■ドメスティック・バイオレンス（DV）とは・・・

⇒夫婦や恋人など親密な関係性の中で起きる暴力のこと。身体的暴力に限らず、精神的、経済的、性的等、あらゆる形の暴力が含まれます。

問20は、配偶者やパートナーがいる(いた)方におたずねします。該当しない方は、問21にお進みください。

問20 あなたは、配偶者やパートナーから次のようなことをされたことがありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つお選びください。

※ここでの「配偶者やパートナー」とは、夫、妻、元夫、元妻、恋人、同棲相手など、一定期間親密な関係のある(あった)相手をさします。

		何度もされた	一、二度された	まったくない
(1) 身体的暴力	手のひらで殴る、平手で打つ、物を投げつける、包丁を突き付ける、髪を引っ張る、首を絞める など	1	2	3
(2) 精神的・心理的暴力	大声でどなる、何を言っても無視する、大切にしているものを壊す・捨てる、交友関係や電話・メール等の内容を細かく把握しようとする など	1	2	3
(3) 経済的暴力	明らかに生活費が足りていないのに渡さない、給料や貯金を勝手に使う、外で働くことを妨害する など	1	2	3
(4) 性的暴力	嫌がっているのに性行為を強要する、中絶を強要する、避妊に協力しない など	1	2	3

↓
問20-1へ

問20で1つでも「何度もされた」又は「一、二度された」と回答した方にお尋ねします。

問20-1 そのことについて、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 友人・知人
- 2. 家族・親戚
- 3. 医療関係者（医師・看護師）
- 4. 警察
- 5. 公的機関の相談窓口（女性センター、福祉事務所、法務局、市役所など）
- 6. 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）
- 7. その他（具体的に： _____)
- 8. 相談しなかった

↓
問20-1で「8. 相談しなかった」と回答した方にお尋ねします。

問20-2 相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 相談できる人がいなかったから
- 2. どこに相談してよいのかわからなかったから
- 3. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 4. 相談しても無駄だと思ったから
- 5. 相手に相談したことが知れると、自分や子どもなどに危害が及ぶと思ったから
- 6. 人に打ち明けることに抵抗があったから
- 7. 我慢すればこのままなんとかやっていけると思ったから
- 8. 自分にも悪いところがあると思ったから
- 9. 他人を巻き込みたくなかったから
- 10. 相談するほどのことではないと思ったから
- 11. その他（具体的に： _____)

問22で1つでも「されたことがある」または「したことも、されたこともある」と回答した方にお尋ねします。

問22-1 セクハラ行為を受けた際に、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 上司・同僚
- 2. 職場内の相談窓口
- 3. 公的機関（熊本労働局，熊本県などの相談窓口）
- 4. 友人，知人
- 5. 家族・親戚
- 6. その他（）
- 7. 相談しなかった

問23 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクハラをなくすために必要なことは何だと思われますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1. 市の広報紙等を活用したDVやセクハラを防止するための啓発
- 2. 学校でのDVやセクハラを防止するための教育
- 3. メディアにおける性・暴力表現の規制
- 4. DVやセクハラに対する罰則を強化した法律や規則などの整備
- 5. 相談体制の充実
- 6. その他（具体的に：）
- 7. 特にない
- 8. わからない

防災活動についてお尋ねします

問24 あなたは、防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いませんか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要ないと思う
4. 必要ないと思う
5. わからない

問24で「1. 必要だと思う」又は「2. どちらかといえば必要だと思う」と回答した方にお尋ねします。

問24-1 性別に配慮した取り組みとして、どのようなことが必要だと思いませんか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 避難所の設備（男女別のトイレ，更衣室，洗濯干し場等）
2. 避難所運営の責任者に男女がともに配置され，避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
3. 災害時の救援医療体制（妊産婦へのサポート体制）
4. 公的施設の備蓄品のニーズ把握，災害時に支給する際の配慮
5. 被災者に対する相談体制
6. 防災や復興の政策・方針を決める過程に男女がともに参画すること
7. その他（具体的に： _____)
8. わからない

男女共同参画の推進についてお尋ねします

問25 あなたは、「男女共同参画社会」を実現していくために、宇土市に対してどのような施策を望みますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 性別による役割分担の意識を解消するための啓発・広報
2. 女性の政策・方針決定過程への参画促進
3. 子どもの頃からの男女共同参画教育の推進
4. 子育て支援サービスの充実
5. 介護支援サービスの充実
6. 家庭生活における男女共同参画の浸透
7. 地域社会における男女共同参画の浸透
8. 女性の就業支援
9. 働きやすい就労環境の整備
10. DVや各種ハラスメント等、女性に対するあらゆる暴力の根絶
11. 各種相談窓口の充実
12. その他（具体的に：）
13. 特に望むものはない

問26 男女共同参画についての御意見、この調査に対する御感想等がありましたら、御自由に御記入ください。

調査に御協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要です）を御利用のうえ、〇〇月〇〇日（〇曜）までに御投函くださいますようお願いいたします。